

名残桜の賑やかウォーク

麗和会有志の懇親行事として、毎年10人前後の参加を得ながら、今や恒例となった「花見ウォーク」が今年も4月6日（日）に見沼で行われた。

今年は2月が寒くて、3月に入ると急に暖かい日が続き、桜の開花が早まる条件にピッタリ！！ 開花予定日が発表の都度早まり、東京地区は史上3番目の早さとか。総会の時点で4月6日（日）と決めていたので日程変更もできず、今年は葉桜もやむなし、花より団子と負け惜しみを言いながらも、雨・風を心配しながらヤキモキの数日であった。

ところが、日頃の行いが良いのか（？）、満開は過ぎていたが、しっかりと我々を待っていてくれた。これを名残桜という。当日は雲一つ無い正に快晴、5月上旬の気温とか。時折の微風に、花びらが用水の水面に向かって落下していく風情は、満開とは又一味違うすばらしさである。

見沼の魅力は、長閑な田園風景と各種の草花が咲き誇っているところである。桃、木瓜、山吹、雪柳、ダイコン、芝桜、ラッパスイセン等々。そして、なんと言っても菜の花が桜にピッタリ。10時に出発して、見沼用水西縁～通船堀～東縁（川口自然公園）～くらしの博物館に12時に到着。博物館の芝生で小宴会。たまたま「見沼音頭発表会」と重なり、若干うるさかったが、飲み始めたら全く気にならなくなり、1時間程で毎年お世話になっている豊年屋へ向かう。豊年屋は今年新装し、ソバ屋から料理屋風に変身したが、愛想の良い若ママは相変わらず。約8km程歩いたので、程良い疲れの中でお酒が美味！！2時間程、楽しい打ち上げであった。さて今年は、そば焼酎「粹喬」は何本空いたかな！！

村田（10）記

今回の花見ウォークの参加者（敬称略）

五十嵐、半田（6）、秋山（8）、村田（10）、結城（11）、佐々木（13）、村松（15）、神山（20）

